

Futtsu 議会だより

No.169 平成26年5月9日
Spring 2014

発行／千葉県富津市議会
 編集／千葉県富津市議会 広報委員会
 〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443
 Tel.0439-80-1331 Fax.0439-80-1350
<http://www.futtsu-gikai.jp/>



第15回議場コンサートは、環小学校児童3～5年生による合奏と合唱が披露されました。「ミッキーマウスマーチ」「いろんな木の実」の合奏では、可愛らしさあふれる軽快なメロディに心が躍り、「きらきら星」「ふるさと」のトーンチャイム演奏と斉唱では、優しい音色に魅了されました。また、「南風にのって」「きみに伝えたい」では、澄んだ歌声が議場内に響き渡り聴く人達の心が癒されました。



富津市亀田「知る人ぞ知る富津市の桃源郷」
 写真提供 富津市・茂木健一さん

富津 絶景²¹

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こっそり独り占めせず、歓びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
 （上記編集先まで）

予算審査特別委員会報告	2・3P
3月定例会・委員会報告	4・5P
代表質問（2人）	6P
個人質問（5人）	7～11P
トピックス、定例会日程	12P

平成26年度予算が決まりました

予算書・予算に関する説明書・

附属資料をもとに議会開会中に設置された予算審査特別委員会（9人）において、2日間にわたり平成26年度予算に示された個別事業の内容や金額の算出根拠などの質問に加え、将来の施策展開や市政運営の考え方から総論的な内容にまで及ぶ幅広い質問を行いながら審査を進めました。

その結果、一般会計（158億5千万円）と3つの特別会計（118億9729万7千円）、2つの企業会計（25億3488万5千円）を合わせ、総額302億8218万2千円の予算が決まりました。

審査の中で質問のあったさまざまな項目や、平成26年度の事業のうち主なものをここで紹介します。

委員長	福原敏夫
副委員長	岩本良一
委員	平野良一
委員	永井庄一郎
委員	松原和江
委員	佐久間勇
委員	十川敬三
委員	平野政博
委員	平野英男

歳入のこと

◆地方譲与税配当割交付金

1200万円

前年度と比較して500万円増加となった主な要因は、上場企業の業績の回復基調と過去3年の実績を考慮して増額しています。

◆固定資産税

55億3687万6千円

固定資産税は、減少の傾向（平成23年度の決算からは約10億円減少している）にあります。減額の主な要因としては、富津地区工業用地内の大規模償却資産分が減少したことにより大幅な減収となることが大きく影響しています。新たな設備投資がない限りは、今後とも減少していくと考えられます。

防災のこと

◆防災避難用地取得事業

2748万9千円

土地取得に当たっての総事業費は、用地の取得にかかわる部分の元金と金融機関への償還のための利子を2%で計上しています。

◆防災情報通信ネットワーク事業

630万円

防災行政無線の老朽化から、無線設備規則に適合しないため、同報系の親卓、遠隔制御卓、中継局子局、移動系の基地局、中継局を新しい規則に適合する機器へ更新し、デジタル化へ向けて整備するものです。

くらしのこと

◆コミュニティ推進費（AED借上料）

14万8千円

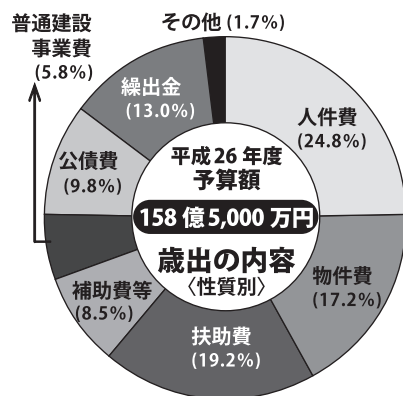
AEDは5館のコミュニティセンターと富津連絡所に備えています。



飯野コミュニティセンター備え付けのAED

▼平成26年度予算の内容（性質別）

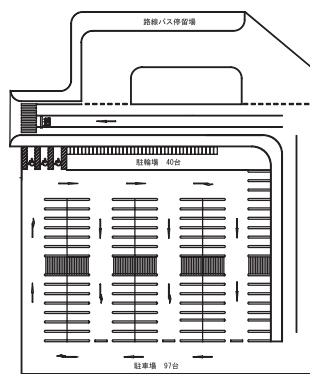
- 人件費 39億3,066万8千円：議員の報酬、職員の給与など
- 物件費 27億2,859万6千円：消費的性質をもつ経費
- 扶助費 30億3,571万1千円：生活保護や児童手当など
- 補助費等 13億4,658万2千円：負担金、補助金及び交付金など
- 普通建設事業費 9億2,241万3千円：公共施設、公共用施設の新増設の建設事業
- 公債費 15億5,545万円：市債の元金・利子や一時借入金の利子を支払う経費
- 繰出金 20億5,846万3千円：一般会計からの特別会計へ繰り出す費用
- その他 2億7,211万7千円



◆バスストップ整備事業

2124万8千円

浅間山バスストップ本体と駐車場と関連の市道整備全体で、約12億円程度かかります。バスストップが6億円、バスストップ駐車場整備が2億円、市道整備事業が4億円という内容になります。



浅間山バスストップ駐車場完成予想図

◆塵芥処理費

8億7006万2千円

前年度と比較して約4200万円増加となった主な要因は、収集事業の中のごみ収集委託料の長期委託契約期間が終了するため、新たに委託料予算を計上した金額です。最終処分場管理運営事業の中の飛灰処分委託料として1785万3千円を予算計上しています。今までは大塚山処分場で処分していましたが、埋め立て容量が厳しい状況から県外処分を一部考えた予算計上となっています。

◆水道事業会計改良工事費

5億6670万4千円

今後の事業の取り組みについては、平成22年度に作成した富津市地域水道ビジョンにより、老朽管改良工事、拡張工事を進めていく考えです。

◆旧天羽行政センター土地借上料

316万円

現在未利用となっている旧天羽行政センター用地の借地料です。



未利用となっている旧天羽行政センター

福祉のこと

◆国民健康保険特別会計一般被保険者国民健康保険税

16億7619万6千円

前年度と比較して約1000万円の増加を見込んだ理由は、平成26年度には被保険者数で約626人の減となります。25年度の1人

教育のこと

◆給食施設整備事業

622万円

この内訳は、大貫共同調理場廃水処理施設水中プロワ交換工事、天羽共同調理場外部ダクト改修工事、富津小学校調理場給食搬入・搬出口改修工事になります。



工事が予定されている大貫共同調理場

当たりの総所得が約7万5000円の増、全体で所得が約12億円の増となっています。これは震災の影響で24年度は落ち込みましたが、25年度にその部分が戻ったという推測から、今回は被保険者が減るものの、所得増による増額を見込んでいます。

▼各会計予算額

会 計 名	平成 26 年度	平成 25 年度	増 減 額	対前年増減率
一 般 会 計	158 億 5,000 万円	155 億 7,000 万円	2 億 8,000 万円	1.8%
特別会計				
国民健康保険事業特別会計	70 億 2,000 万円	69 億 9,000 万円	3,000 万円	0.4%
後期高齢者医療特別会計	4 億 6,499 万 7 千円	4 億 4,577 万 2 千円	1,922 万 5 千円	4.3%
介護保険事業特別会計	44 億 1,230 万円	42 億 8,163 万 8 千円	1 億 3,066 万 2 千円	3.1%
小 計	118 億 9,729 万 7 千円	117 億 1,741 万円	1 億 7,988 万 7 千円	1.5%
水 道 事 業 会 計	25 億 3,214 万 5 千円	25 億 4,689 万 3 千円	-1,474 万 8 千円	-0.6%
温泉供給事業特別会計	274 万円	231 万円	43 万円	18.6%
合 計	302 億 8,218 万 2 千円	298 億 3,661 万 3 千円	4 億 4,556 万 9 千円	1.5%

3月 定例会

平成26年第1回定例会は、2月24日から3月25日までの30日間で開催され、議案41件、発議案1件について審議を行いました。ここでは、予算案を除く主なものを報告します。

えないが、1年間限定であり、職員同意も得ている。歳入確保に向けて、職員の苦慮した選択であると認め賛成する。

▼市長・副市長と教育長の給与を減額

平成17度から既に減額を実施しているが、緊急的な財源不足の対策として、平成26年度の1年間、さらに4%減額します。

賛成多数により可決しました。

▼一般職員の給与等に関する条例を一部改正

高齢層の一般職員の昇給抑制及び自宅に係る住居手当の支給を廃止しました。

賛成多数により可決しました。

▼治山事業分担金の徴収条例の制定

人的・物的に直接被害を与えると認められる保安林に対し、山地災害の発生を防止、または復旧するため、県等の補助金を受け市が緊急整備事業を行います。その治山事業に伴う受益者負担金を徴収

するために条例を整備したものです。

全員の賛成で可決しました。

▼消防長・消防署長になる資格を条例に規定

消防組織法の改正により、消防長と消防署長の資格を、当市の実情にあわせ条例で定めました。

全員の賛成で可決しました。

なお、概要については次のとおりです。

消防長

○消防職員として従事した者で消防署長又は消防本部で署長同等以上の職に1年以上あった者。

○行政職員で、市長直近下位の内部組織の長又は同等以上の職に2年以上あった者。

消防署長

○消防吏員で、消防司令以上の階級に1年以上あった者。



消防防災センター

▼学校薬剤師の報酬額を引き上げ

健康相談や保健指導など、学校薬剤師として学校にかかわる頻度が多くなっていることから、年額報酬を6万5千円から7万7500円に引き上げました。

全員の賛成で可決しました。

▼市道路線の認定・変更・廃止

市道路線の認定5件、変更4件、廃止7件の詳細は次のとおりです。

認定路線		変更路線		廃止路線	
太田寺谷線	210m	仲町太田浜町線	1,715.8m	数馬東上原線	109.1m
若宮堀込線	83m	花香谷線	799.7m	更和郷社 2 号線	303.6m
浅間山線	1,958m	下道線	803.8m	更和 1 号線	206.2m
笹ノ坪線	124m	東大和田大川崎線	1,839.6m	更和 2 号線	386.9m
椎ノ木浄円防線	572m			巢の根線	328.7m
				横峰線	623.3m
				桜井下作田線	427.8m

◆条例

▼職員の地域手当をカット

厳しい財政状況から、一般職員の地域手当を平成26年度の1年間限定で支給しない条例を制定しました。

なお、反対討論が1回、賛成討論が2回なされ、賛成多数により可決しました。

《反対討論》

民間賃金や物価との調整手当として支給されるもので生活給であり、公務員給与が下がると、さらにデフレスパイラルを起こしかねないので反対する。

《賛成討論》

厳しい財政と言えども、職員給与を下げることは好ましいとは言

◆ 補正予算

▼ 一般会計補正予算

歳出補正予算の主な内容は、介護基盤緊急整備特別対策事業に係る経費、介護保険事業特別会計繰出金及び児童手当給付事業に係る経費などを減額するとともに、そのほか、工事の工期が年度内に確保できない等により、次世代育成支援対策推進事業、漁港整備事業、道路新設改良事業、公共土木施設災害復旧費等の予算を繰り越して使用できるようにした結果、1億6870万4千円が減額され、補正後の予算額は158億4407万9千円となります。

なお、歳入補正予算は、地方交付税や国庫支出金、県出金、財産収入等を減額し、市税や自動車取得税交付金、寄附金などを増額するほか、君津富津広域下水道組合負担基金からの繰り入れなどを行い、**全員賛成**により可決しました。

歳入予算の主な内容

○市税 3700万円

決算見込みにより固定資産税が増額されました。

○自動車取得税交付金

460万円

県の推計及び決算見込みによ

り増額されました。

○寄附金

55万5千円

民生費寄附金が48万5千円、教育費寄附金が7万円増額されました。



寄附金によって購入した小学校図書室の本

○地方交付税

△2億4953万6千円

普通交付税の算定において単位費用等を減額する法改正により大幅に減額となりました。

○国庫支出金

△1551万8千円

地域生活支援事業補助金などが減額となりました。

○県支出金

△1867万9千円

国保会計保険基盤安定負担金、後期高齢者医療特別会計保険基

盤安定負担金などが、決算見込みににより減額となりました。

歳出予算の主な内容

○総務管理費

127万6千円

定住奨励金の支給対象者が増加したため増額となりました。

○生活保護費

1373万2千円

生活保護受給者の増加により生活扶助費、住宅扶助費が増額されました。(うち、市の負担額は236万7千円)

○消防費

104万円

出動回数増加に伴う燃料費の高騰などにより需用費が増加したため増額となりました。

○災害復旧費

378万3千円

台風26号による大雨で被災した道路、河川の復旧に係る経費を増額しました。

▼ 特別会計補正予算

決算見込みにより次のとおり既定予算を調整しました。

○国民健康保険事業特別会計

237万4千円

○後期高齢者医療特別会計

72億1516万2千円

○介護保険事業特別会計

△138万2千円

○介護保険事業特別会計

4億3892万5千円

○国保会計保険基盤安定負担金

△2億2267万6千円

○後期高齢者医療特別会計

41億4557万5千円

◆ 議員発議

▼ 議員報酬の額の特例に関する条例の制定

市税の大幅減収等により、財政が厳しい状況の中で平成26年度予算を採択しました。議員自らも財源不足への対応に取り組むため、来年3月までの1年間、報酬月額4%を減額する条例を発議し、**全員の賛成**で採択されました。



*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内(質疑応答で150分)であれば、
同じ会派の人が関連質問をすることができます。



代表質問

平成26年度施政方針から

賢政会



石井 志郎
議員

問 施政方針で富津市の財政が逼迫しているとはどんな状況か。

市長 平成26年度の財政状況は、市税収入では固定資産税の大規模償却資産が大幅な減少、歳出では社会保障関係経費の増加により不足する財源を給与削減や財政調整基金から繰り入れ、補填する逼迫した状況である。

問 平成11年の財政非常事態宣言発令時の状況と現在の状況は。

企財部長 市税は平成10年度が約95億円、24年度が約89億円で約6億円の減収、財調残高は10年度末が約10億円、24年度末が約4億円で、約6億円の減少、歳出の扶助費は10年度が約15億円、24年度が約29億円で約13億円の増加である。

問 平成27年度以降、歳入の確保をどのように行い、その見込みは。

企財部長 市税徴収の強化、特定目的基金の活用、財産処分等、あらゆる財源の確保に努める。

問 現在徴収していないが、条例で徴収できる目的税はあるか。

市民部長 都市計画税がある。

問 砂利採取税は。

市民部長 廃止している。

問 都市計画税条例制定の経緯は。

市民部長 都市計画事業の費用に

充てる目的税として平成14年9月に制定したが、19年に別に条例で定める日から施行すると改正し、施行する期限を設けず現在に至っている。

問 都市計画税を徴収した場合の増収額と一軒当たりの負担額は。

市民部長 100分の0.3で3億4500万円、100分の0.1で1億1500万円の税額、富津地区の市街化区域内で土地が180㎡、住家が130㎡で算出して、一軒当たり100分の0.3で2万6千円、100分の0.1で8千600円になる。

問 下水道費、広域下水道組合負担金は今まで一般会計から幾ら繰り入れられたか。

建設部長 昭和51年度から平成25年度までの38年間で約173億8000万円。

問 都市計画費の下水道費は都市計画税で補填すべき事業と思うが。

建設部長 都市計画税が徴収されれば目的税なので、下水道の建設費に充当されと考えている。

問 下水道整備率と加入率は。

建設部長 面積は380ha、区域人口6401人、処理人口3682人で、整備率は54・8%、加入率は57・5%である。

効率的な市政運営に向けて

賢政会



渡辺 務
議員

問 公共施設の再配置についての所見は。

市長 公共施設の建設費や維持管理費は、次世代に財政負担を残さないためにも軽減すべきで、人口減少に合わせた公共施設の保有総量の圧縮を段階的に進めていく必要性がある。公共施設を再配置するということは、時として住民生活に大きな影響を及ぼす場合もあるが、本市の未来像をしっかりと描くためにも長期的視点から新しい自治体経営を着実に実行していく必要がある。

問 今までの公共投資は、更新する投資ということを意識していなかったが、最近事実を正確に把握し客観的に見せるような動きがようやく始まってきた。必要な施設とそうでない施設、稼働率や料金収入を含めて再配置の構想を考えるべきでは。

総務部長 国も地方公共団体に施設の将来計画の策定を要請している。これには交付税措置などの支援も打ち出されており、今後それに沿った計画を策定し国の支援を活用していきたい。

問 各部ごとに施設の老朽化対策を行うと「木を見て森を見ず。」



公共施設には建設当初の費用から維持管理費用と更新・解体までのトータルコストの把握が求められるべき

総務部長 現在の行財政改革の計画のスケジュールでは平成26年度当初では考えていないが組織体制の必要性が生じれば整備していく。

問 予算編成についてはその手法を伺う。「一件査定」から各部に税源を移譲する包括的な予算配分とする考えはあるか。

企財部長 現在の財政状況では難しいが、今後、さまざまな面から研究していきたい。

基本構想の実現に向けて

問 構想の実現に向けて、後期実施計画の具体的な施策は。

市長 「躍動とにぎわい安らぎとふれあいの交差するまちふつつ」を基本構想に掲げ、後期実施計画では、引き続き第3次基本計画の推進テーマである「安心して子育てできるまち」の実現に向け、掲載主要事業に取り組んでいく。

問 後期実施計画に策定されている事業で、投資的事業や他市に誇れる強化施策はあるか。

企財部長 投資的事業には、仲町太田浜町線整備事業、避難所整備事業、（仮称）福祉教育施設整備事業等の新たな施設整備事業とともに、橋梁長寿命化修繕や学校施設環境整備事業等を掲載した。外部にアピールできる事業としては、定住奨励金交付事業、バスストップ整備事業がある。

問 定住奨励金交付事業の効果はでているか。

企財部長 昨年9月に制度開始後初となる84件の申請があり、うち市外からの転入44件、一定の効果はあったものと認識している。

問 この定住奨励制度は27年1月1日までの対象だが、延長は考えているのか。



勇 間 久 佐
議員

企財部長 平成26年度の実績を踏まえ検討したい。

問 福祉サービスの向上のうち、高齢者の生きがい事業の現状は。

健福部長 富津市社会福祉協議会が「高齢者生きがい事業」として実施、登録会員数184人、年間就労延べ人数は3400人強。

問 働く意欲のある高齢者に就労の場を提供することが、心身の健康維持や介護・子育ての労働力不足を補い、医療や介護費用の抑制にもつながる。本市の生きがい事業を今後どのようにしたいか。

健福部長 多様なニーズにこたえるため、シルバー人材センターへの移行を視野に入れ、積極的な事業展開を考えている。



（仮称）福祉教育施設の候補地となった神明山造成地

問 （仮称）福祉教育施設整備事業にある図書館についての考えは。

市長 図書館は、市民が生涯を通じて意欲的に学習する社会教育施設として、市民からの要望も多い。市民一人ひとりが読書活動の拠点として、市の文化を継承し、理解と愛着を深める場として重要な施設と認識している。

問 書物は、時空を超えた多様な考え・思い・知識を得るすべであり、図書館は不要だとは思わないが、箱モノとして新規に必要なのか。あり方についての手法は。

教育部長 図書館のあり方についての手法はさまざまある。他市同様に箱モノを新設、あるいは現有施設の公民館等の図書室の充実、市内施設の空きスペースを利用。また、4市広域連携も考えられる。

問 蔵書についての考えは。

教育部長 幅広い分野における書籍・資料を取りそろえることが必要である。特に市にかかわる重要な資料は、市民からの情報を得ながら収集に努めたい。

問 Not In My Back Yardの頭文字から、ニンビーと言われる、いわゆる迷惑施設について、まちづくりの観点からどう捉えているのか。

市長 処理施設等の中には、その必要性は認めても自分の居住地域

への設置は敬遠されがちなものもある。しかし、市民生活になくはならないものは、今後も地域住民の理解と協力を得て進めていく。

問 ゴミ回収の取り組み状況は。

経環部長 決められた地域のゴミ集積所に曜日ごとに分別し、委託業者により回収している。

問 ゴミ集積場の選定方法は。

経環部長 地元区で選定した場所を申請してもらい、区長や地区関係者と市が立ち合い、問題なければ承認する。管理も地元区に依頼。

問 公共用地がない地区での場所選定は困難を極める。所見は。

経環部長 公共用地への設置が望ましいが、実情は難しく、私有地の所有者の協力と理解が必要。今後は地域コミュニティに委ねるだけでなく、これらを視野に入れ、対策を検討しなければならない。



思いやり、地域で築く「住みよい社会」

要支援認定者のサービス、生活保護制度



松原 和江 議員

問 2014年度から、国は介護保険制度を変えようとしている。

要支援認定者の訪問介護と通所介護を介護保険給付から外し、市町村の実施する地域支援事業に移行された場合、財源確保や受け入れ体制の整備ができるのか。

市長 第6期介護事業計画策定のため、介護事業所アンケートの中で、その受託の意向を確認の上、要支援認定者に適したサービスができる体制を整えたい。

問 要支援認定者のサービスの利用状況は。

健福部長 下表のとおり。

問 訪問介護と通所介護が地域支援事業に移行すると、影響を受ける利用者は何人か。

健福部長 222人。

問 要支援認定者は今までと同じサービスが受けられ、費用も同じだと理解しているのか。

健福部長 現時点では、そのように理解している。

問 昨年12月、生活保護法が改正されたが、衆議院厚生労働委員会審議で、日本共産党議員の質問に対し厚労省は、①「親族の扶養は生活保護受給の前提ではない」②「申請は、口頭でも受け付ける」

③「書類が整わなくても、申請した時点で保護開始とする」など、「今までの運用と変わらない」と答弁した。富津市も同じ考えか。

市長 ①は、生活保護法では、「民法に定める扶養義務者の扶養及び他の法律に定める扶養は、すべてこの法律による保護に優先して行われるものとする。」となっており、前提ではない。②申請は書面が基本だが、特別な事情により申請書が作成できない方は、現在認められている口頭申請についても変更はない。③30日以内に提出があれば、申請した時点で保護開始となる。市は、国と同じ考え。

要支援認定者のサービス利用状況(2013年11月実績)

サービスの種類	利用人数
訪問介護	106人
通所リハビリ	27人
通所介護	151人
福祉用具貸与	70人
訪問看護	4人
その他のサービス	293人
合計	651人

備考：要支援認定者497人のうち、サービスを利用している実人数275人。重複利用のため実人数とは一致しない

田倉残土埋立計画、大塚山処分場

問 12月議会で、土砂の安全性は土砂発生元証明書で確認できると答えたが、土砂発生元証明書の書き方の基準はあるか。

経環部長 ない。

問 以前、市内の埋立地で、発生元が異なるのに土砂発生元証明書は同じ筆跡で書かれていた事例があった。県はその後、土砂発生元証明書の取り扱いについてという文書を出した。市も厳しくチェックできる体制をとれないか。

経環部長 今後そのようにしていきたい。

問 大平興産(株)の第3処分場拡張について、昨年10月市長が県に処分場全体の安全性を確保した上でなければ今回の増設計画を認めることは難しい旨の回答書を提出した。これがどのように拡張申請の審査に反映されているか。

市長 現在、富津市からの意見書の内容を踏まえ、専門委員会第3処分場拡張の審査を行っている状況と聞いている。

問 第2処分場の漏えい対策は仕切り壁ができ上がり、漏えい地層に遮水シートを貼っている。大平は、これで第2処分場は完全に仕切られたから第3処分場をのせた

いと。市は、これで遮断されたと認識しているか。

経環部長 仕切り壁で処分場が分離されたと考える。今後、県が完全に遮断したかどうか判断する。

問 今後も漏えい対策費捻出のため、次々と拡張申請される懸念がある。ここできっぱり第3処分場の拡張申請を止めさせるべきだがいかがか。

経環部長 許可権者は県。市で判断はなかなかできない。

問 地元住民は、このごろ、大平に覆土を運ぶトラックが来ないと覆土がされているのか確認したか。

経環部長 市は、確認できなかったが、業者に確認したら、きちんとやっているとのことであった。



大平興産(株)第2処分場
漏えい地層に遮水シート敷設工事(今年1月30日撮影)

平成26年度 施政方針について

問 浅間山砂利採取跡地開発の今後の方針は。

市長 今後の跡地の総合的な利活用に向けては、これまでの大手山砂利採取事業者に太陽光発電事業者を加えた浅間山協議会に市も加わり、検討を進めていくとともに県とも強固な連携を図り、観光資源や交流機能をあわせ持つ跡地全体の利活用の実現に取り組み、市南部地域はもとより、市全体の振興につなげていく。

問 バスストップ、駐車場、市道等の整備スケジュールは。

建設部長 バスストップ本体工事は、平成26年度中に設計及び用地買収、工事は27年度から30年度までの間、東日本高速道路株式会社に委託する。駐車場及び市道整備については、26年度に測量及び概略設計、27年度に詳細設計、28年度には用地買収、30年度には工事完了となる予定となっている。

問 住宅地の開発は考えているのか。

企財部長 跡地利用の全体構想において、高速バスストップの近接性を活かし、居住系の機能も考えられる。

問 上水道の整備計画は。



鈴木 幹雄 議員

水道部長 跡地内の上水道整備については、計画給水人口を決定し、配水量、管口径などを定める必要があり、浅間山砂利採取跡地の開発計画や、バスストップ施設整備計画と合わせて検討する。



浅間山バスストップ計画予定地

問 定住人口増加策の内容は。

市長 安心して子育てできるまちづくりの推進とともに、土地の有効利用を図り、安全で快適な住環境の整備を促進する。さらに、定住奨励金制度の引き続きの周知と合わせて市の魅力を内外に発信するとともに、就労の場の確保、交通基盤の整備、子育て支援の充実等の各種施策を推進する。

問 定住人口の若い人達の流出原因は。

市民部長 都市部と比較して雇用の場が少ないこと。また、社会動態による減少よりも自然動態による減少が大きく上回っている。

問 市の結婚相談の状況は。

市民部長 相談件数は1日平均4件前後、年間200件の相談を受けている。また、相談者は登録制で、現在160名の登録がある。

問 児童・生徒の育成方針は。

教育長 学校教育の指針の中で、「心豊かでたくましい児童・生徒の育成」を3本柱の1つとして掲げ、道徳教育の充実や豊かな人間関係を育てる学級集団づくり、生徒指導、教育相談体制の充実に力を入れている。道徳教育では、各学校において、校長の指導のもと年間計画を作成し、各教科と関連づけ、教育活動全体を通して指導に努めている。特に生命尊重の精神は指針の中でも重点とし、自他ともに尊重し合い、互いの命を大切にすることを繰り返し指導している。いじめ防止に関しては、児童生徒が地域や学級集団の中で存在感や所属感が持てる豊かな人間関係を育てている。各学校において、いじめ防止の基本方針を作成し、生徒指導など、組織を活かし、対策を立て、いじめの未然防止や早期発見の取り組みを重点的に実施している。

問 道徳教育推進教師とは。

教育長 学校の道徳教育の中心となる教師で、校長の指導を受け全体を掌握して、全教員の参加、分担、協力のもとに学校の道徳教育が円滑に推進、実施できる様に努力している。

問 豊かな人間関係づくり実施プログラムの内容は。

教育長 いじめ対策が課題となる中で、千葉県教育委員会が作成し、平成19年度から実施しており、「挨拶、助け合い、コミュニケーション能力」等、人間関係づくりに必要な基本的な力を育むことをねらいとして、小学1年生から中学3年生までの各学年、4時間ずつのプログラムとなっている。各学校において学級活動の時間などを使って実践している。



佐貫小学校における外国語活動の授業風景

まちづくり、財源確保、 公社の整備



福原 敏夫
議員

問 これからのまちづくりの考えは。

市長 基本構想、基本計画及び実施計画を策定し、計画的なまちづくりを推進している。総合計画は平成27年度に終了し、26年度から新たな総合計画の策定に着手するが、市の財政状況を的確に把握し、広く市民各層や関係団体や企業からも、まちづくりに対する意見・提言を伺い、市民等のニーズを踏まえた、より現実に即した計画を策定し、まちづくりのビジョンを示したい。

問 篠部から市役所、君津から市役所への道路状況は。

建設部長 神明山1号線については、県に代わり市で今、先行取得で用地買収を進めている。下飯野線については、社会資本整備総合交付金事業の中で、今後、平成28年までに事業を実施して行く予定である。

問 青堀駅の整備に関してJRと折衝した状況は。

企財部長 JR駅については、平成25年度の実施計画の中にありますが、それに伴う25年度で施工できるような形で、JR千葉支社との交渉を行ってきた。



早期の整備が望まれるJR青堀駅

今回については、概算工事が当初5500万円で実施計画に見ていたが、その後、JRのコンサルタント等に概算設計を出させたところ、2億数千円かかるという状況だ。それらについての工法は現在検討している。また、毎年、JR千葉支社、あるいは本社等には要望活動等を行っている。

問 財源確保の取り組みは。

市長 今後の財源確保については、歳出面においては、市民の安全と安心を最優先に考えた選択と集中による事業選択を図り、経常的な既存事業においても、休止、縮減先送り、事業手法の再検討の見地から徹底的な見直しを図るとともに、歳入面においても、市税徴収

の強化、特定目的基金の活用、財産処分等、更なる強化を図ってきたい。

企財部長 企業誘致、定住奨励制度等により、人口増加策を着実に実行し、税収を確保していきたい。そのほか、財産処分だけでなく、財産活用についても、いろいろな面から取り組んでいきたい。大規模償却関係だと、メガソーラー関係の施設等についても着実に進んでいる中で、税源が確保できていくのではないかと考えている。

問 耐震は終了するが、その後の取り組みは全て安全な学校につくりかえていくのか。

教育部長 現在も学校に行き、台風や雪による被害状況の調査を行ったり、定期的に施設の状況についてヒアリング等を行っている。今後についても、老朽化した施設の改修計画に向けて、調査及び検討を行っていきたい。

問 行政財産の借地はこの10年間で支払った地代はいくらか。

総務部長 行政財産の敷地で賃貸契約を交わしている施設の過去10年間の土地借上料の総額は平成24年度決算ベースで年間3563万1千円で、過去10年間で約4億73万7千円の支出となっている。

問 校舎の整備と耐震の状況と統廃校の今後の取り組みは。

教育長 市内小・中学校の耐震補強工事は、今年度をもって近隣市に先駆けて完了する。現在は、老朽化した施設の改修計画策定に向けて調査しているところだが、今後、児童・生徒の学習環境の一層の整備に努めていく。統廃校の取組については、少子高齢化の進行など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中、小・中学校の規模の



耐震補強工事が完了した湊小学校屋内運動場

ふるさと納税制度と「空き家」対策

問 「ふるさと納税」制度を市のホームページに掲載したのは、いつからか。

市民部長 平成24年から。

問 今までの実績は。

企画部長 平成24年度の個人寄附は2件で21万5010円。平成25年度は現時点では、無い。但し、2件の方が「ふるさと納税」制度を受けたかまでは把握していない。

問 財政破綻をした夕張市に5万円以上の寄附をすると、タイアップしている社団法人北海道倶楽部からイクラ・サケ・カニのいずれかを送ってくる仕組みになっている。富津市では、寄附された方どのようなお礼をしているのか。

企画部長 お礼状・受領証明書を



財政状況が厳しい富津市。平成26年度、職員の地域手当が1年間カットされる。収入増の施策が必要

持参または送付し、本人の承諾を得た方は広報ふつにつに掲載。

問 お礼に、市の特産品を活用しては。

企画部長 研究し取り組みたい。

問 近隣の館山市では、平成20年から「ふるさと納税」制度を活用し、今では年間数千円の入金を得ている。ところで富津市には、今まで寄附をしていただいた方の台帳はあるか。

企画部長 全庁を統括する台帳はない。各所管で文書にて保管。

問 館山市のホームページには、ふるさと納税された方の住所・氏名・金額・寄附先の一覧表を公表している。当然、匿名者にも配慮している。寄附をした人にとっては嬉しい配慮だ。館山市には現在15の受入事業があるが、富津市にはいくつあるのか。

企画部長 現在12基金がある。

問 市のホームページには、現在4項目しか表示されていない。館山市は当初の4年間は、12事業、年々数が増え、今年度は15になっている。特に画家・青木繁と縁のある小谷家住宅の保存・活用事業には数百万円が寄せられている。富津市も、もっと間口を広げても



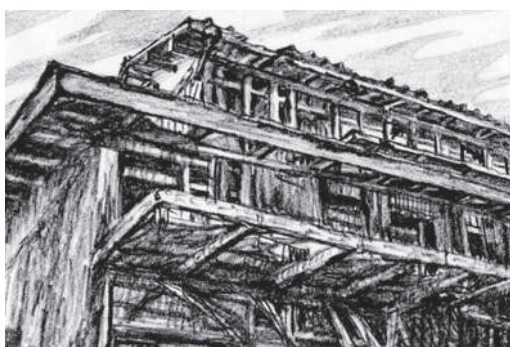
藤川 正美 議員

raitai。

企画部長 館山市の「フレフレ・たてやま応援条例」を参考に研究していきたい。

問 県のホームページの「ふるさと納税」のページでも富津市にはリンク先がない。他のサイトでも富津市の情報は乏しい。これらも含め、富津市のホームページ内の「ふるさと納税」の充実をお願いしたい。

市民部長 わかりやすく、入りやすい画面にしていきたい。



老朽化「空き家」の放置は、その地域に様々な危険性や、衛生面の問題を発生させる

問 市に連絡のあった、空き家・危険家屋の相談件数は。

建設部長 過去からの相談件数も含め12件。

問 老朽化した家屋を撤去できない理由を3つほどあげてほしい。

建設部長 所有者の特定が困難であること。所有権以外の権利が発生していること。所有者に財産的余裕がないこと。

問 東京都足立区の空き家対策の担当課長の話を聞きにいった。区には対策条例もあるが、それ以上に課長が区民の立場にたつて対応策を考え実行していた。所感は。

建設部長 現時点では、条例の整備は考えていない。根気強く指導したい。

問 所有者の現住所は固定資産税の担当者は分かっているが、地方税法の22条で教えることができない。このような背景から、現在、国会議員が特別措置法案をまとめた。今年には形になるのではと期待している。その上で、我が地域に合った条例も必要であると思うがいかがか。

建設部長 国の動向を注視し、検討していきたい。

問 今までは老朽化した空き家対策だったが、次は活用できる空き家について伺う。南房総市、館山市も過疎化対策として「空き家バンク」を設け対応しているが、富津市の考えは。

建設部長 他市を勉強し、制度を確立するような方向で検討していきたい。



あいにくの雨模様となった3月2日に富津市総合社会体育館を発着点に27都道府県から4,626人の市民ランナーがエントリーした「第36回千葉県民マラソン」が行われました。



3月22日に富津市総合社会体育館で「第4回バスケットボールフェスタ」が開催。チーム富津・君津 VS チーム木更津・袖ヶ浦のミニバスケット試合が男女ともに行われました。



富津海岸「潮干狩り場」が3月15日にオープンしました。この日は好天にも恵まれ、多くの市内外のお客様で賑わいました。今年の開設期間は3/15(土)～9/11(木)です。



3月23日に富津スターレーンで「富津市民ボウリング大会」が開催され、優勝された五十嵐充(いがらしみつる)さんは4ゲーム合計で978点という圧巻のハイスコアでした。

編集後記

議会広報委員の任期は2年のため、この7名での編集も今回が最後となります。次回から新たな顔ぶれで再スタートします。各人が、今までを振り返ります。



議会だよりの編集に携わって2年間。市民の皆様読みやすく、わかりやすい紙面とすることの難しさを、発行のたびに痛感しました。今後も開かれた議会の情報をお届けできるように努めてまいりますので、引き続きご愛読くださるようお願いいたします。(永井委員長)



あっという間の2年間。広報委員になり通算6年。小学生ならピカピカ1年生が中学生に。「明快伝達」モットーに。感謝！(佐久間副委員長)



広報委員会メンバーとして、読者の読みやすい議会だよりの編集に努めてきました。2年間ありがとうございました。(鈴木委員)



市議会を代表する議会だよりの編集委員として分かり易い内容で編集することを心掛けてきました。(岩本委員)



合計6年間の編集委員。審議の内容を再確認する上でも、自分自身大いに為になりました。読んでいただいた皆様に感謝。(渡辺委員)



「わかりやすく、伝わりやすい」議会だよりの編集をモットーに活動してまいりました。皆さん、いかがでしたか。(平野政博委員)



他市では珍しい議員自ら編集を行う作業に携わらせて頂き光栄でした。今後も議会活動の見える化に努めます。(平野英男委員)

ぜひ、議会傍聴に！

◆ 6月定例会 日程予定

6月 3日(火) 10時	開会
	議案の上程
9日(月) 9時30分	一般質問
10日(火) 9時30分	一般質問
11日(水)	予備日
12日(木) 10時	議案質疑
13日(金)	常任委員会
16日(月) 10時	常任委員会
17日(火) 10時	常任委員会
20日(金) 10時	委員長報告
	議案審議
	閉会

6月の議場コンサートは、9日の午前9時から佐貫小学校高学年による合唱ほかを予定しております。

※日程は変更になることがありますので、議会事務局(80-1331)までお問い合わせください。